

今回の地震を踏まえた設備強化対策

今回の福島原子力発電所の事故は、津波の影響で全ての電源が喪失したことにより、深刻な事態を招いたことから、電源確保対策を重点的に行っております。

この度、以下のとおり、さらなる追加の対策を講じてまいります。

強化項目	これまでに実施した対策	追加の対策
電源確保対策	○電源車3台を配備 ・75kVA×2台 ・300kVA×1台	○電源車の追加配備等 ・75kVA×1台 ・300kVA×2台 ・4500kVA×1台 ○外部電源の強化
冷却水確保対策	○各号機毎に海水ポンプモータ 予備品の手配	—
浸水対策	—	○建屋の水密扉の設置

電源車の追加配備

電源供給の信頼性を向上させる観点から、電源車の追加配備を計画

【当面の対応】

号機	現在配備済み	速やかに配備	
1号機	75kVA×1台	300kVA×1台	4500kVA (1～3号機のバックアップ用)
2号機	75kVA×1台	300kVA×1台	
3号機	300kVA×1台	75kVA×1台	

電源車の仕様

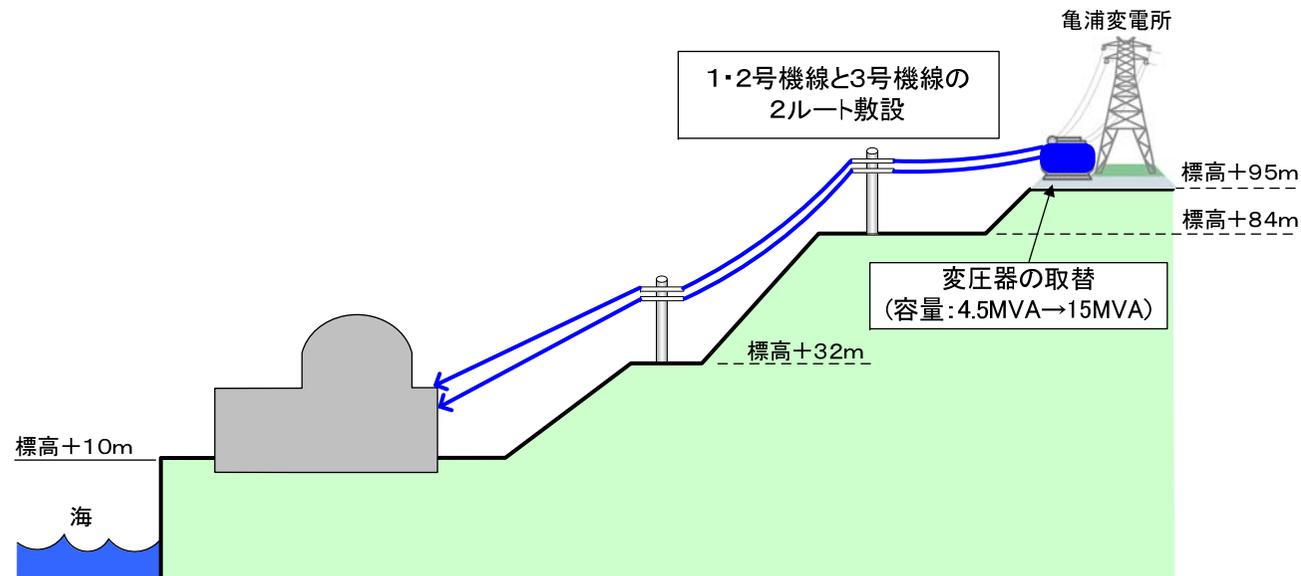


発電機出力	75kVA	300kVA	4500kVA
発電機電圧	210V	6600V	6600V
機関種類	ディーゼル発電機	ディーゼル発電機	ガスタービン発電機
車両寸法	全長 約5m 全幅 約2m 全高 約2.5m	全長 約7m 全幅 約2m 全高 約3m	全長 約12m 全幅 約2.5m 全高 約3.8m
用途	中央制御室監視用	安全系機器用	安全系機器用 中央制御室監視用

外部電源の強化

外部電源の多様性を図る観点から、構内までの配電線（6600V）の敷設を計画

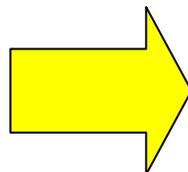
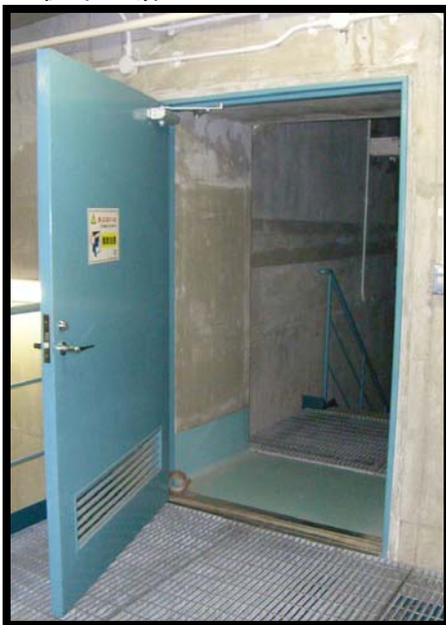
号機	既存電源設備	配電線のプラント設備への活用
1号機	<ul style="list-style-type: none"> ・187kV送電線(4回線) ・66kV送電線(1回線) 	亀浦変電所(発電所に隣接)からの配電線を1・2号機、3号機用として、それぞれ敷設 (配電線の電圧は非常用ディーゼル発電機と同じ)
2号機	<ul style="list-style-type: none"> ・非常用ディーゼル発電機(各号機2台) 	
3号機	<ul style="list-style-type: none"> ・500kV送電線(2回線) ・187kV送電線(1・2号機共用) ・非常用ディーゼル発電機(2台) 	



建屋の水密扉の設置

浸水対策として、非常用ディーゼル発電機や直流電源装置などを設置した部屋の入口扉の水密扉への取替を計画

<従来の扉>



<水密扉(例)>

